

令和2年度（2020年度）

学 生 募 集 要 項

〔 帰 国 子 女 入 試 〕



宮 崎 大 学

宮崎大学の教育理念とアドミッション・ポリシー(入学者受入・選抜の方針)

教育理念

宮崎大学は、「世界を視野に地域から始めるよう」の「スローガンのもとに、人々の生活の質を向上させること」を目的として、以下に掲げる教育理念を掲げ、その実現に努めています。

1. 高い倫理観と豊かな人間性を涵養するとともに、幅広く深い教養と総合的な判断力を育成する。
 2. 社会性・国際性を育成するとともに、広く自然や社会に触れ、現場で学ぶ態度を育成する。
 3. 柔軟で論理的な思考力を育成するとともに、日本語による記述・発表の能力や外国語によるコミュニケーション能力を育成する。
- また、専門分野に関する基礎的知識を修得し、それらを応用できる能力を育成するとともに、専門分野への深い興味を育み、課題探究及び解決能力、自発的に学習する能力を育成する。
- 新たな知識の創造につながる専門教育を実施し、総合的判断力を育成する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）

宮崎大学では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）及びカリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）に掲げた、社会の発展に積極的に貢献する人材の養成を目指しています。そのため、以下の「求める学生像」に示す、知識・技能、思考力、及び意欲を持った人を国内外から積極的に受け入れます。

【求める学生像】

1. 本学の教育理念に共感し、入学後の学修に充分対応できる基礎的な知識・技能を有する人
2. 身に付けた知識・技能を応用して問題を解決する上で必要となる思考力を有する人
3. 身に付けた知識・技能及び思考力を地域社会や国際社会において自ら積極的に活用し、その発展に貢献する意欲を持った人

【入学者選抜の基本方針】

1. 求める学生像に沿って、多様な入試方法により多面的・総合的に選抜する。
2. 客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜する。

宮崎大学ではこのような教育理念を各学部、学科、課程において達成するために、それぞれアドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）を掲げています。

したがって、本学に入学を希望する人は、基礎教育及び学部専門教育の内容や各学部、学科、課程のアドミッション・ポリシーを十分に理解した上で志願してください。

令和2年度（2020年度）入学試験日程

	帰国子女入試
学 部	教育学部・農学部（獣医学科を除く）・地域資源創成学部
出 願 期 間	令和元年（2019年）11月1日（金） ～ 11月6日（水）
試 験 日	令和元年（2019年）11月27日（水）
合 格 者 発 表	令和元年（2019年）12月6日（金）
入学手続期間	令和2年（2020年）2月19日（水）17時まで（必着） ※原則郵送

目 次

1. 学部のアドミッション・ポリシー	1
2. 実施する学部（学科・課程）及び募集人員	8
3. 出願資格	8
4. 出願手続	9
5. 受験票の印刷	13
6. 選抜方法	13
7. 試験日程及び試験場	14
8. 受験上の注意事項	14
9. 合格者発表	14
10. 障がい等のある入学志願者の事前相談	15
11. 入学手続等	16
12. 個人情報の取扱いについて	18
13. 入学試験成績の情報開示	19
14. 試験場配置図	20

※学生寄宿舍への入居を希望する者は「11. 入学手続等」をよく読んでください。

1. 学部のアドミッション・ポリシー

(1) 教育学部

課程・コースのアドミッション・ポリシー

課程・コース		課程・コースのアドミッション・ポリシー
学 校 教 育 課 程	小 中 一 貫 教 育 コ ー ス	<p>小中一貫教育コースでは、児童・生徒の長期にわたる発達過程を見通す見識、児童・生徒への深い理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身につけた教員の養成を目標としています。</p>
		<p>1. 求める学生像</p> <p>小中一貫教育コースでは、小学校・中学校・小中一貫校の教員等を目指す教職への意欲にあふれ、教職に必要なたしかな知識・技能(以下、「知識・技能」)について研鑽を積み、教育課題を解決するために必要な思考力(以下、「思考力」)と児童・生徒への適確な指導に資する表現力(以下、「表現力」)と学校現場で生きる協調性(以下、「協調性」)をもち、それらをしっかりと身につけるべく一層の努力を怠らない人材を求めています。</p>
		<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試(前期日程・後期日程)</p> <p>高等学校までに修得した基礎的学力と得意とする教科についての大学の学習で必要となる発展的学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」を総合的に判断します。</p> <p>2)a 推薦入試(小学校主免専攻)</p> <p>高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を課した上で、面接、推薦書・調査書・志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。</p> <p>面接では教職への意欲、「協調性」について評価します。</p> <p>推薦書、調査書、志望理由書では教職への意欲、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」について評価します。</p> <p>2)b 推薦入試(中学校主免専攻、専門学科枠)</p> <p>高等学校専門学科等での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を課さないかわりに、面接、小論文、推薦書・調査書・志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。</p> <p>面接では教職への意欲、「知識・技能」、「協調性」について評価します。</p> <p>小論文では教職への意欲、「思考力」、「表現力」について評価します。</p> <p>推薦書、調査書、志望理由書では教職への意欲、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」について評価します。</p> <p>3) A0 入試(中学校主免専攻)</p> <p>得意とする教科を有し、入学後もその教科を専修とすることを希望する者に対し、大学入試センター試験を課した上で、面接、各教科の定める個別審査、自己推薦書、志望理由書、実技・活動等に関する調書によって多様な能力を総合的に判断します。</p> <p>大学入試センター試験では「知識・技能」について評価します。</p> <p>面接、自己推薦書、志望理由書及び実技・活動等に関する調書では教職への意欲、「知識・技能」、「思考力」「表現力」、「協調性」について評価します。</p> <p>各教科の定める個別審査では、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」について評価します。</p> <p>4) 帰国子女入試</p> <p>帰国子女に対し、小論文、面接によって「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。</p> <p>5) 私費外国人留学生入試</p> <p>外国人留学生に対し、小論文、面接によって「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。</p>
		<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの科目に関する基礎学力を十分に身につけると同時に、「協調性」など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身につけておくことが望まれます。</p>
教 職 実 践 基 礎 コ ー ス		<p>教職実践基礎コースでは、幼児期から青年期にわたる長期の発達過程を見通した上で、幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校に共通する教職に関する高い専門性を持ち、現代の教育課題に多角的に対応できる教員の養成を目標としています。</p>
		<p>1. 求める学生像</p> <p>教職実践基礎コースでは幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校における教育に対して熱意を持って取り組み、教科全般に関わる基礎学力、また、得意とする分野の学力や技能(以下、「知識・技能」)を有し、これらを教育実践に活用しようとする教職への意欲を持っている人、現代の教育課題に対応するために、幅広い学問や文化を意欲的に学び、広い視野を身につけ、それを幼児教育・初等教育・中学校教育・小中一貫教育に生かす思考力・表現力(以下、「思考力・表現力」)を持っている人、また、学び続ける喜びを幼児・児童・生徒と共有したいと考え、宮崎県をはじめとする地域に根ざす学校づくりの有力な一員となる協調性(以下、「協調性」)を持っている人を求めています。</p>

課程・コース		課程・コースのアドミッション・ポリシー	
教職実践基礎コース		2. 入学者選抜の基本方針 1) 一般入試（前期日程） 高等学校までに修得した基礎的学力と得意とする教科についての大学の学習で必要となる発展的学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」を総合的に判断します。 2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接、小論文及び出願書類（推薦書、調査書及び志望理由書）によって、宮崎県の教員をめざし、地域に根ざす学校づくりの有力な一員となる意欲と、現代の教育課題に対応するために他者と協力して課題解決しようする意欲を持つ人を受け入れるために、多様な能力を総合的に判断します。 面接では「協調性」、教職への意欲について評価します。 小論文では「思考力」、「表現力」について評価します。 推薦書・調査書では「知識・技能」、「思考力」、「協調性」、教職への意欲について評価します。 志望理由書では「表現力」、教職への意欲について評価します。 3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、小論文、面接によって「思考力」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。 4) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、小論文、面接によって「思考力」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。	
		3. 入学までに身に付けてほしいこと 高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの科目に関する基礎学力を十分に身につけると同時に、「思考力」、「表現力」、「協調性」など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身につけておくことが望まれます。	
学校教育課程	子ども理解専攻	子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期にわたる子どもの心理、発達過程を見通す深い見識と理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身につけた教員の養成を目的としています。	
		1. 求める学生像 子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期の子どもへの教育に対する意欲にあふれ、（教職に必要なたしか知識・技能（以下、「知識・技能」））について研鑽を積み、（目標に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・主体性（以下、「思考力・主体性」））と（児童・生徒への適確な指導に資する表現力（以下、「表現力」））と（学校現場で子どもと保護者と信頼関係を築き、同僚と協力して問題に取り組んでいける対人関係能力（以下、「協調性」））を身につけるための努力を怠らない人材を求めています。	
		2. 入学者選抜の基本方針 1) 一般入試（前期日程） 高等学校までに修得した基礎的学力と得意とする教科についての大学の学習で必要となる発展的学力について、大学入試センター試験、個別学力検査、面接によって、「知識・技能」、「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を総合的に判断します。 大学入試センター試験と個別学力検査では、「知識・技能」、「思考力」について評価します。 面接では、「知識・技能」、「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲について評価します。 2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を課した上で、面接、推薦書・調査書・志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では「思考力・主体性」、「協調性」、「表現力」、教職への意欲について評価します。 推薦書・調査書では「知識・技能」、教職への意欲について評価します。 志望理由書では「表現力」、教職への意欲について評価します。 3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、小論文、面接によって「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。 4) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、小論文、面接によって「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。	
特別支援教育専攻	子ども理解専攻	3. 入学までに身に付けてほしいこと 高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの科目に関する基礎学力を十分身につけておくことが望まれます。また、「思考力・主体性」、「協調性」など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人コミュニケーション能力を身につけておくことが望まれます。	
		特別支援教育専攻では、障害のある児童・生徒それぞれの発達や特徴を捉える見識と深い児童理解力を持って初等教育を施すことができ、その上で障害に基づく種々の課題や困難を改善または克服するのに必要な知識、技能、態度及び習慣を養うための指導ができる特別支援学校教員の養成を目的としています。	
		1. 求める学生像 特別支援教育専攻では「特別支援教育に対して意欲（以下、「特別支援教育への意欲」）」を持って取り組み、「特別支援教育に関する学修に十分対応できる基礎学力や基礎技能（以下、「知識・技能」）」を有し、「目標達成に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・表現力（以下、「思考力・表現力」）」、	

課程・コース		課程・コースのアドミSSION・ポリシー	
学 校 教 育 課 程	発 達 支 援 教 育 コ ー ス	特 別 支 援 教 育 専 攻	「愛情豊かに他者を思いやることができる協調性（以下、「協調性」）」を持つ人、また、「学習を通して獲得した知識・技能・行動力を教育現場に還元するための粘り強く創意工夫する力や向上心（以下、「創意工夫・向上心」）」を有している人材を求めています。
			2. 入学者選抜の基本方針
			<p>1) 一般入試（前期日程）</p> <p>高等学校までに修得した基礎的学力と特別支援教育に関する大学での学習で必要となる発展的学力について、大学入試センター試験、個別学力検査、面接によって、「特別支援教育への意欲」、「知識・技能」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」を総合的に判断します。</p> <p>大学入試センター試験及び個別学力検査では、「知識・技能」、「思考力・表現力」について評価します。</p> <p>面接では、「特別支援教育への意欲」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」について評価します。</p> <p>2) 推薦入試</p> <p>高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を課さず、小論文、面接、推薦書・調査書によって多様な能力を総合的に判断します。</p> <p>小論文では、「知識・技能」、「思考力・表現力」について評価します。</p> <p>面接では、「特別支援教育への意欲」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」について評価します。</p> <p>推薦書・調査書では、「特別支援教育への意欲」、「知識・技能」について評価します。</p> <p>3) 帰国子女入試</p> <p>帰国子女に対して、小論文、面接によって、「特別支援教育への意欲」、「知識・技能」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」を総合的に判断します。</p> <p>4) 私費外国人留学生入試</p> <p>外国人留学生に対して、小論文、面接によって、「特別支援教育への意欲」、「知識・技能」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」を総合的に判断します。</p>
			3. 入学までに身に付けてほしいこと <p>高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの科目に関する基礎的学力を十分身につけておくことが望まれます。また、「協調性」など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身につけておくことが望まれます。</p>

(2) 農 学 部

学科のアドミッション・ポリシー

学科	学科のアドミッション・ポリシー
植物生産環境科学科	植物生産環境科学科では、農学に関する基礎知識、植物生産、生産環境、並びに環境調和型農業に関する基礎的・応用的知識、専門分野に関する国際的視点、社会貢献力及び指導力を身に付けた人材の育成を目標としています。
	1. 求める学生像
	植物生産環境科学科では、安全・高品質な農・園芸作物の安定供給に対して熱意を持って取り組み（主体性）、自然現象に対する強い知的好奇心と自然環境に配慮した農業生産に対する関心（学問への関心）を有する人、実験や観察において深く考察（思考力）し、その結果を表現する力（表現力）、大学での学修の基盤となる幅広い知識や理科の基礎的学力（知識・理解）を有する人、また、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を地域・社会に還元することができ（協調性）、国際的な視野と責任感を有する人を求めています。
	2. 入学者選抜の基本方針
	1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。
	2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、協調性、学問への関心について評価します。 書類審査では推薦書、調査書、志望理由書を審査します。それによって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。
森林緑地環境科学科	3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、面接と小論文、出願書類によって、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心、知識・理解を評価します。
	4) 社会人入試 社会人に対し、面接と書類審査によって、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心、知識・理解を評価します。
	5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験、出願書類によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心を評価します。
	3. 入学までに身に付けてほしいこと
	数学、理科、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性、コミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。
	森林緑地環境科学科では、森林・緑地の機能に関する基礎的・応用的知識と国際的視点や課題解決能力、自然環境や国土保全及び水資源利用に関する基礎的・応用的知識、樹木・菌類及び非生物材料の特性に関する基礎的・応用的知識、多機能型森林緑地管理に関する基礎的・応用的知識と計画・実行力、環境と調和した材料の開発力と緑化の実践力を身に付けた人材の育成を目標としています。
森林緑地環境科学科	1. 求める学生像
	森林緑地環境科学科では、森林・緑地の環境保全と生態系の修復、森林資源や水資源の循環的・安定的利用に対して熱意を持って取り組み（主体性）、森林・緑地に関連する自然科学と社会現象に幅広い興味や関心（学問への関心）を有し、実験や観察において深く考察（思考力）し、その結果を表現する力（表現力）、大学での学修の基盤となる幅広い知識や理科に関する基礎学力（知識・理解）を有する人、また、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元する情熱と責任感を持つ（協調性）人材を求めています。
	2. 入学者選抜の基本方針
	1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。
	2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、協調性、学問への関心について評価します。 書類審査では推薦書、調査書、志望理由書を審査します。それによって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。
	3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、面接と小論文によって、表現力、主体性、協調性、学問への関心を評価します。

学科	学科のアドミッション・ポリシー
森林緑地環境科学科	4) 社会人入試 社会人に対し、面接と書類審査によって、主体性、協調性、学問への関心、知識・理解、思考力を評価します。
	5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心を評価します。
	3. 入学までに身に付けてほしいこと
	理科、数学、外国語など、高等学校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、勉学において自ら興味を深め課題を発見する姿勢、多様な意見を聞きながら課題解決を図る態度を身に付けておくことが望ましい。
応用生物科学科	応用生物科学科では、農学に関する基礎知識、数学及び自然科学に関する基礎知識、応用生物学に関する知識、技術者の社会的責任、制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる力を身に付けた人材の育成を目標としています。
	1. 求める学生像
	応用生物科学科ではバイオサイエンス分野の先端技術の獲得、食品機能の探求や環境保全に対して熱意を持って取り組み（主体性）、動植物や微生物の機能や利用に対する深い関心（学問への関心）を有し、実験結果や観察内容を深く考察し（思考力）、その結果を表現する力（表現力）、大学での学修の基盤となる化学や生物、英語に関する学力を有する人（知識・理解）、また、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を応用生物学分野の技術者として社会に還元することのできる人材（協調性）を求めています。
	2. 入学者選抜の基本方針
	1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と大学の学習で必要となる理科についての発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。
	2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、知識・理解、思考力、学問への関心、協調性について評価します。 書類審査では調査書、推薦書、志望理由書を審査します。それによって、主体性、知識・理解、学問への関心、表現力、協調性について評価します。
	3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、小論文、面接によって、思考力、表現力、主体性、知識・理解、学問への関心、協調性を評価します。
	4) 社会人入試 社会人に対し、面接、書類審査によって、知識・理解、主体性、協調性、思考力、表現力を評価します。
	5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、日本留学試験、小論文、面接によって、知識・理解、思考力、表現力、協調性、主体性を評価します。
	3. 入学までに身に付けてほしいこと
	理科（特に化学・生物）、数学、英語、国語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。
海洋生物環境学科	海洋生物環境学科では、農学に関する基礎知識、水圏に関する専門的基礎知識と専門的知識を応用できる能力、環境と食糧生産の諸問題に関する分析力、環境と食糧生産の諸問題の解決に貢献する力、地域社会や国際社会で活躍できる能力を身に付けた人材の育成を目標としています。
	1. 求める学生像
	海洋生物環境学科では、海洋生物や水圏環境の保全、水域生物の生産・利活用、水族の生理機能に深い興味（学問への関心）を有し、海洋環境と生物生産の諸問題の解決に熱意をもって取り組み（主体性）、実験や観察において深く考察（思考力）し、その結果を表現する力（表現力）、大学での学修の基盤となる幅広い知識や自然科学に関する基礎学力（知識・理解）を有する人、また、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元することのできる（協調性）人材を求めています。
	2. 入学者選抜の基本方針
	1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。
	2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では、表現力、主体性、学問への関心及び思考力を評価します。 書類審査では推薦書、調査書、志望理由書を審査します。それによって、知識・理解を評価します。
	3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、面接と小論文によって、表現力、主体性、学問への関心、思考力及び協調性を評価します。

学科	学科のアドミッション・ポリシー
海洋生物 環境学科	4) 社会人入試 社会人に対し、面接と書類審査によって、表現力、主体性、学問への関心、思考力及び協調性を評価します。
	5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験、出願書類によって、表現力、主体性、知識・理解、学問への関心、思考力及び協調性を評価します。
	3. 入学までに身に付けてほしいこと
	高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性、表現力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。
畜産草地 科学科	畜産草地科学科では、農学に関する基礎知識、草地・飼料、家畜、資源・環境及び食料・畜産業・農村に関する基礎的・応用的知識・技能、専門分野に関する国際性と課題解決能力を身に付けた人材の育成を目標としています。
	1. 求める学生像
	畜産草地科学科では、資源循環、環境の保全、家畜の福祉などに配慮した持続的な畜産業の構築に対して熱意（主体性）を持って取り組み、動植物に対する幅広い興味や関心（学問への関心）を有し、実験や観察において深く考察する能力（思考力）を有し、その結果を表現する力（表現力）、大学での学修の基盤となる幅広い知識や生物、化学に関する基礎学力（知識・理解）を有する人、また、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元することのできる資質（協調性）を有する人材を求めています。
	2. 入学者選抜の基本方針
	1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。
	2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、協調性、学問への関心について評価します。 書類審査では推薦書、調査書、志望理由書を審査します。それによって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。
	3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、面接と小論文によって、表現力、主体性、協調性、学問への関心を評価します。
	4) 社会人入試 社会人に対し、面接と書類審査によって、主体性、協調性、学問への関心、知識・理解、思考力を評価します。
	5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験、出願書類によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心を評価します。
	3. 入学までに身に付けてほしいこと
	生物、化学、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。

(3) 地域資源創成学部

学科のアドミッション・ポリシー

学 科	学科のアドミッション・ポリシー
地域資源 創成学科	<p>地域資源創成学部では、地域資源を活用し新たな価値を創成する企画力・実践力の育成を図り、地域の活性化に不可欠なイノベーション創出に向けたマネジメントの知識と、地域資源の価値を複眼的に捉える視野を持った人材を養成し、実社会で即戦力として活躍できる人材の輩出を目標としています。</p>
	<p>1. 求める学生像</p>
	<p>地域資源創成学部では地域振興に対して熱意（学問への関心）を持って取り組み、社会科学および自然科学に対する基礎学力（知識・理解）を有し、コミュニケーション能力・表現力と思考力・判断力を持つ人、また学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる強い意思を持った人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p>
	<p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と社会科学および自然科学系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、小論文、面接、書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 小論文、面接では、思考力、表現力、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心について評価し、書類審査では、知識・理解、主体性を審査します。</p> <p>3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、小論文、面接によって、思考力、表現力、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心の評価し、書類審査によって知識・理解を審査します。</p> <p>4) 社会人入試 社会人に対し、面接によって、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心の評価し、書類審査によって知識・理解を審査します。</p> <p>5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、日本留学試験、小論文、面接によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心を総合的に評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p>
	<p>入試科目として課しているかにかかわらず、国語、地歴・公民、数学、理科、外国語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、協調性、主体性など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。</p>

2. 実施する学部（学科・課程）及び募集人員

学 部（学科・課程）		コ ー ス ・ 専 攻		募集人員	
教 育 学 部	学 校 教 育 課 程	小中一貫教育コース	小学校主免専攻	各コース・ 専攻とも 若 干 人	
			中学校主免専攻		
		教職実践基礎コース			
		発達支援教育コース	子ども理解専攻		
			特別支援教育専攻		
農 学 部	植 物 生 産 環 境 科 学 科			各学科とも 若 干 人	
	森 林 緑 地 環 境 科 学 科				
	応 用 生 物 科 学 科				
	海 洋 生 物 環 境 学 科				
	畜 産 草 地 科 学 科				
地 域 資 源 創 成 学 部	地 域 資 源 創 成 学 科			若 干 人	

（注）入学後の教育は、一般入試により入学した者と同様に行われます。

3. 出 願 資 格

日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けた者で、次の各号のいずれかに該当する者

- （１）学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を外国又は日本において、平成30年（2018年）4月1日から令和2年（2020年）3月31日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者で、卒業（修了）時点から起算して過去4年間の内、外国において2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者
 (注)外国に設置されたものであっても日本の学校教育に準拠した教育を実施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けた者とはみなしません。
- （２）外国において、国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル資格）のいずれかを平成30年（2018年）又は平成31年（2019年）に授与された者で、令和2年（2020年）3月31日までに18歳に達する者
 (注)GCE-Aレベル資格の必要な科目数・評価については、宮崎大学学生支援部入試課（0985-58-7138）までお問い合わせください。

4. 出 願 手 続

宮崎大学では、平成31年度（2019年度）入学試験から、インターネットを利用した出願方法に変更しました。紙媒体の出願方法との併用は行いませんので、従来冊子体で配付していた学生募集要項は、本学ホームページから電子ファイル（PDF 形式）をダウンロードして入手又は参照してください。

本学に入学を志願する者は、次の（１）～（５）により、手続きを行ってください。

（１）インターネットを利用した出願情報の登録及び入学検定料の支払い

- ① インターネットによる出願情報の登録及び入学検定料17,000円（別途、払込手数料640円）の支払い（以下「インターネット出願登録」という。）が必要となります。

<インターネット出願登録サイト>

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/Internet-apply.html>

- ② インターネット環境以外で事前準備が必要となる主な事項は、次のとおりです。

ア 入学検定料の支払い方法を確認してください。コンビニエンスストア、銀行、ＡＴＭ、クレジットカード及びネットバンキングのいずれかで支払い可能です。

イ 電子メールアドレスが必要となります。スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。（この電子メールアドレス宛に、出願情報登録完了等の確認メールを配信します。）

ウ 受験票及び写真票に使用する写真データが必要となります。上半身脱帽正面向き無背景で、直近3か月以内に撮影した100KB～5MBサイズの jpg 又は png データをアップロードしてください。

エ Ａ４サイズの用紙が印刷できるプリンタ（モノクロ、カラーどちらでも可）が必要です。印刷用紙は普通紙で構いません。（出願情報の登録内容を印刷することになります。）

オ （２）の出願書類のうち、「② 出願者が準備する必要提出書類」を用意してください。書類の内容によっては、準備に時間を要する場合があります。

- ③ 自宅や在籍する学校・予備校等に、インターネット出願登録ができる環境が整っていない場合は、事前に、宮崎大学入試課（0985-58-7138）まで相談してください。

※ インターネット出願登録後、入学検定料を支払い、（２）の提出書類を郵送又は持参することで、出願完了となります。（３）の受付期間内に提出書類の郵送又は持参がない場合、出願未完了（登録データは無効）となりますので、注意してください。

※ インターネット出願システムの操作・登録方法等の詳細については、上記<インターネット出願登録サイト>をご覧ください。志願受付操作サポート窓口までお問い合わせください。
志願受付操作サポート窓口：0120-752-257（出願登録期間の9:00～20:00）

（２）提出書類

インターネット出願登録完了後、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に次の①及び②の書類等を入れて提出してください。

① インターネット出願登録サイトから登録・印刷（Ａ４サイズで印刷）

提出書類	摘 要
出願確認票 （提出用）	インターネット出願登録及び入学検定料支払い後、印刷したもの。 ※「提出用」の出願確認票を提出してください。「確認用」の出願確認票ではありませんので、注意してください。
宛名ラベル	角形2号封筒の表面に宛名ラベルを貼り付けて、その封筒の中に提出書類を全て封入のうえ、提出してください。

② 出願者が準備する必要提出書類（提出書類の記入は、黒ボールペン又は黒ペンを使用してください。）

提出書類	摘 要
身上記録	<p>本学所定の様式（A4サイズ・1枚）に、本人自筆で記入してください。 様式は下記URLからダウンロードしてください。 http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/departments-exam/other.html なお、農学部植物生産環境科学科において、TOEFL等の成績や有する資格を記入する場合は、その証明書（写し）を添付してください。</p>
本人自筆の志望理由書 （農学部植物生産環境科学科志願者のみ）	<p>様式は任意ですが、必ず本人が自筆したものに限りです。 （A4サイズ・日本語で3,000字程度）</p>
卒業（修了）証明書 成績証明書 資格証明書等	<p>次の①～⑤のいずれかを提出してください。</p> <p>① 出身高等学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書及び成績証明書（<u>出身高等学校長が作成したもの、原本に限る</u>） また、日本の高等学校又は中等教育学校に在学したことがある場合は、併せて在学高等学校長又は在学中中等教育学校長の作成した所定の調査書又は成績証明書（原本に限る） なお、記載事項内容（科目名、成績等）が記号等で示されている場合は、必ずその説明文を付してください。</p> <p>② 国際バカロレア資格を取得した者は、その資格証書（写）及び最終試験6科目の成績評価証明書</p> <p>③ アビトゥア資格を取得した者は、成績の記載されている一般の大学入学資格証明書（写）</p> <p>④ バカロレア資格を取得した者は、バカロレア資格証書（写）及びバカロレア資格試験成績証明書</p> <p>⑤ GCE-Aレベル資格を取得した者は、その成績評価証明書</p>
日本語訳	<p><u>外国語で作成された書類には、日本語訳を添付してください。</u></p>

（3）提出書類（出願書類）の受付期間

令和元年（2019年）11月1日（金）から11月6日（水）まで

- ① 持参する場合の受付時間は、土曜日、日曜日及び祝日を除く8時30分から17時までとします。
- ② 郵送する場合は必ず書留速達とし、受付期間内必着（11月6日（水）17時必着）とします。
なお、受付期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。

※インターネット出願登録期間については、令和元年（2019年）10月25日（金）～11月6日（水）17時までとしており、事前に登録可能です。

なお、インターネット出願登録だけでは、出願手続きは完了しません。その後、入学検定料を支払い、上記の受付期間内に（2）の出願書類を全て郵送又は持参することで完了します。

(4) 提出方法及び提出先

- ① インターネット出願登録及び入学検定料支払い後にインターネット出願登録サイトから宛名ラベルを印刷してください。市販の角形2号封筒(240mm×332mm)にそれを貼り付け、(2)の提出書類を全て入れ、厳封のうえ郵送又は持参してください。
- ② 提出書類のうち、外国の学校又は機関が作成する書類で日本語以外の場合は、必ず日本語訳を添付してください。
- ③ 提出書類に記入もれ、その他不備がある場合には受理しないこともありますので十分注意してください。
- ④ 提出先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学生支援部入試課
電 話：0985-58-7138
FAX：0985-58-2865

(5) 注意事項

- ① インターネット出願登録サイトにおいて出願登録を完了した後は、志望学科等の変更はできません。(それ以前であれば、インターネット出願登録サイトから変更できます。)
- ② 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ③ 受付後の出願書類は返還しません。
- ④ 出願手続及び入学手続において不正な行為があった場合は、入学を取り消すことがあります。
- ⑤ 既納の検定料は、以下の場合を除き、返還いたしません。
ア. 提出書類を郵送又は持参しなかった場合
※インターネット出願登録だけでは、出願手続きは完了しません。その後、入学検定料を支払い、(3)の受付期間内に(2)の出願書類を全て郵送又は持参することで完了します。
イ. 提出書類の不備や出願資格を満たさない等の理由により出願が受理されなかった場合
ウ. 誤って二重に支払った場合

返還請求の方法

検定料返還請求願(様式は問いません。氏名(フリガナ)、入試区分、返還請求理由、現住所、電話番号、検定料返還先銀行口座情報(銀行名、支店名、口座種別、口座番号、口座名義(カタカナ))を明記したもの)を作成し、**以下宛へ令和2年(2020年)3月31日(必着)までに**、速やかに郵送してください。なお返還にかかる手数料は、原則、志願者本人の負担とします。また、令和2年(2020年)4月1日以降に申し出られた場合、返還に応じることはできませんのでご了承ください。

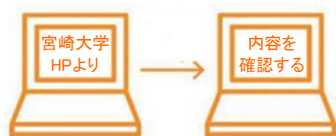
○請求先 〒889-2192
宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学財務部財務課出納係 電話：0985-58-7122
(土曜日・日曜日及び祝日は除く)

1 募集要項の確認

本学ホームページから「募集要項」をダウンロードし、自分が受験する学部・学科・課程の出願資格、出願期間、必要書類、試験日、受験科目等を確認します。

募集要項掲載URL

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/>



4 出願情報の登録

3で出願情報に修正がなければ、登録します。

※登録後は出願情報の変更はできませんので、3で修正がないかよく確認してください。

出願登録サイトから登録する



5 検定料支払い方法の選択

検定料の支払い方法を選択します。

●支払い方法

◎クレジットカード ◎コンビニエンスストア

◎銀行ATM(ペイジー) ◎ネットバンキング



8 出願確認票等の印刷

出願確認票等を印刷します。

出願確認票等を印刷する



9 提出書類の郵送

出願確認票(8で印刷したもの)、調査書等提出が必要な書類を宮崎大学へ郵送又は持参し、出願完了です。

提出書類を郵送する
直接持参してもOK



2 出願情報の入力

インターネットに接続しているパソコンから、画面の指示に従って以下の内容を入力します。

●入力内容

◎入試区分の選択 ◎志望学部・学科・課程、受験科目等の選択

◎個人情報の入力

インターネット出願登録サイト

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/Internet-apply.html>

出願登録サイトから入力する



3 出願情報の確認・修正

入力した出願情報を確認します。確認用の紙を印刷できますので、学校の先生や保護者の方が確認する場合も簡単です。



6 検定料のお支払い

選択した支払い方法に従って検定料を支払います。



7 写真データの登録

インターネット出願システムの「申し込み一覧」より写真データを登録します。



10 受験票の印刷

出願期間終了後から募集要項に記載している期日までに、出願時に登録したメールアドレスへ受験票が印刷可能となった旨の連絡をします。連絡があった後にインターネット出願システムの「申し込み一覧」からA4用紙に印刷し、受験時に必ず持参してください。

受験票を印刷する



5. 受験票の印刷

出願期間終了後から令和元年（2019年）11月15日（金）までに、出願時に登録したメールアドレスへ受験票が印刷可能となった旨の連絡をします。連絡があった後にインターネット出願システムの「申し込み一覧」からA4用紙に印刷し、受験時に必ず持参してください。

6. 選抜方法

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び出願書類の結果を総合して選抜します。

実施方法

学部	学科・課程	種別	所要時間等及び内容
教育学部	学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻 中学校主免専攻 教職実践基礎コース 発達支援教育コース 子ども理解専攻 特別支援教育専攻	小論文	1,000字程度 90分
		面接	個人面接 30分程度 日本語能力、志望動機、本課程への適性、卒業後の進路等
農学部	植物生産環境科学科	小論文	1,200字以内 90分
		面接	個人面接 30分程度 日本語能力、志望の動機、これまでの学習・活動、本学科に対する適性（高等学校で履修した英語、理科に関する基礎知識）卒業後の進路、その他
	森林緑地環境科学科	小論文	1,200字以内 90分
		面接	個人面接 20分程度 日本語能力、志望の動機、これまでの学習・活動、卒業後の進路、その他
	応用生物科学科	小論文	1,200字以内 90分
		面接	個人面接 30分程度 日本語の読み、書き、表現力の能力、本学科に対する適性（英語、化学と生物に関する基礎知識）、志望理由、卒業後の進路、その他
	海洋生物環境学科	小論文	1,200字以内 90分
		面接	個人面接 20分程度 志望の動機、これまでの学習・活動、卒業後の進路、その他
	畜産草地科学科	小論文	1,200字以内 90分
		面接	個人面接 20分程度 志望の動機、これまでの学習・活動、卒業後の進路、その他
創地成域学資部源	地域資源創成学科	小論文	1,000字程度 90分
		面接	個人面接 20分程度 日本語能力、志望の動機、本学科への適性、卒業後の進路、コミュニケーション能力等

7. 試験日程及び試験場

試 験 日	学力検査等	時 間	試 験 場
教育学部・農学部・地域資源創成学部	小 論 文	9:00～	各学部
令和元年（2019年）11月27日（水）	面 接	11:00～	試験場

- （備考）1. 受験する科目の試験開始20分前までに試験室に入室してください。
 2. 試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り受験を認めます。
 3. 試験日程等の詳細は「受験案内」で通知します。「受験案内」は受験票ダウンロード時に併せて、インターネット出願システムの「申し込み一覧」へ掲載しますので、そちらを必ず確認してください。

8. 受験上の注意事項

（1）試験前日までの注意事項

- ① 試験場については、試験前日（土曜日・日曜日及び祝日を除く）の午後に各試験場の掲示板にて試験室等を確認してください。ただし、建物に立ち入ることはできません。
- ② 重要なお知らせ等がある場合は、本学のホームページにてお知らせしますので、各自で確認してください。
 URL：http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam
- ③ 交通機関の運行状況等を確認のうえ、代替の移動手段（航空機が欠航した場合に鉄道で移動する等）を確認しておく等、遅刻することのないよう、万全の準備を行ってください。

（2）試験当日の注意事項

- ① 入学試験当日の携行品
 ア. **宮崎大学入学試験受験票**（必ず持参してください。）
 イ. **筆記用具**〔鉛筆、消しゴム、コンパス、定規、鉛筆削り（電動式を除く）など〕
- ② 受験する科目の試験開始20分前までに試験室に入室してください。試験開始後30分以内の遅刻に限り受験を認めます。
- ③ その他、本学の**受験票に記載の「受験にあたっての注意事項」**を必ず確認してください。

（3）入試Q&Aについて

出願書類・実施方法等に関して、問い合わせの多い事項をQ&A形式にまとめたものを以下の本学ホームページにて掲載しております。
 URL：http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/q-anda

9. 合格者発表

- （1）令和元年（2019年）12月6日（金）10時から創立330記念交流会館学生支援部掲示板（20ページを参照）に合格者の受験番号を掲示し、合格者には合格通知書及び入学手続書類を送付します。
- （2）合格者発表当日の正午頃までに、合格者の受験番号をホームページ（http://www.miyazaki-u.ac.jp/）に掲載しますが、これは情報サービスの一環として行うものであり、公式の合格者の発表は上記に記載しているとおりです。
- （3）合格者発表に関する電話等の照会には一切応じません。

10. 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願書類提出前に宮崎大学学生支援部入試課へご相談ください。相談内容によっては本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、できるだけ早急にご相談ください。

次表に相談例を示しますので参考にしてください。ただし、この相談例に限定するものではありません。

①相談期限

相談期限は、令和元年（2019年）10月1日（火）までとします。

期限を過ぎている場合又は出願締切後に、不慮の事故のため受験上・修学上の配慮を必要とされる場合については、早急に宮崎大学学生支援部入試課へ連絡してください。

②相談方法

宮崎大学のホームページから相談申請書をダウンロードして、次の内容を記載し、医師の診断書を添えて提出してください。（郵送可）

- ア 志願者氏名・志望学部・学科
- イ 障がい等の種類・程度
- ウ 受験上・修学上の配慮を希望する事項
- エ 出身学校でとられていた配慮事項
- オ 日常生活の状況
- カ 住所及び連絡先の電話番号

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談等を行うこともあります。

※相談申請書ダウンロード先：<http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/1789-2.html>

③相談先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西 1 丁目 1 番地 宮崎大学学生支援部入試課 電 話：0985-58-7138 FAX：0985-58-2865 （土曜日・日曜日及び祝日を除く）

相談例	
①視覚障がい	拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は困難なもの
②聴覚障がい	補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は困難なもの
③肢体不自由	1. 肢体不自由により、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難なもの 2. 肢体不自由により、常時の医学的観察指導を必要とするもの
④病弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患により、医療又は生活規制を必要とするもの 2. 身体虚弱により、生活規制を必要とするもの
⑤発達障がい	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等のため配慮を必要とするもの
⑥その他	①～⑤以外の者で配慮を必要とするもの

11. 入学手続等

(1) 入学手続期間

令和2年(2020年)2月19日(水)まで(17時必着)
※原則郵送としますが、やむを得ない事情により郵送で入学手続ができない場合は、事前に連絡の上、来学しての入学手続が可能です。

上記の期日までに入学手続きを完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

(2) 入学手続方法

合格者は、入学手続期間内に入学手続書類を提出し、所定の入学料を納入のうえ、入学手続を完了してください。

(3) 納 入 金

① 入学料 282,000円

(注1) 入学料に改定があった場合は、改定後の入学料を納入していただくことになります。

(注2) 既納の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

① 入学手続をしなかった場合

② 入学料を誤って二重に払い込んだ場合

※返還にかかる手数料は、原則、納入者の負担とします。

② 授業料 前期分 267,900円 後期分 267,900円 年額 535,800円

(注1) 授業料は、新学期開始後にお支払いいただくことになります。

(注2) 授業料の納入は、原則として、預金口座からの「口座振替」とします。

前期の口座振替日は初年度は5月下旬頃、次年度以降は4月下旬頃の予定です。

後期の口座振替日は10月下旬頃の予定です。授業料に関する事項はホームページ(<http://www.miyazaki-u.ac.jp/campus/fees/jugyou/>)にてご確認ください。

(注3) 授業料に改定があった場合は、改定後の授業料を納入していただくことになります。

(注4) 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(4) 入学手続時の必要書類

合格者には、合格通知書、入学手続関係書類を送付します。必要事項を記入のうえ、これらの書類を提出してください。また、本学の受験票を提出してください。

(5) 入学料免除

次のいずれかに該当する特別な事情により、納入が著しく困難であると認められる者は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の全額又は半額を免除することがあります。

ただし、免除を希望しても「免除の対象者」に該当しない場合は申請できません。対象者に該当するか否かを事前に担当(学生生活支援課：0985-58-7976)へ問い合わせてください。

① 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合

② 入学前1年以内において、本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合

③ 前各号に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

(6) 入学料徴収猶予

次のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の徴収を猶予することがあります。

① 経済的理由により入学料の納入が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる者

② 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合

③ 入学前1年以内において、本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合

④ 前各号に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

(7) 授業料免除及び徴収猶予

次のいずれかに該当する者は、本人の申請に基づき選考のうえ、授業料の全額又は一部を免除することがあります。

なお、授業料免除申請者は免除の可否が決定するまでの間、授業料の徴収が猶予されます。

また、申請時期は大学の指定する日で前期・後期の年2回です。

① 経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる者

② 日本学生支援機構給付型奨学金制度の給付奨学生

③ 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合

④ 入学前1年以内において、本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合

⑤ ③、④に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

※令和2年度(2020年度)から開始予定の新たな修学支援(入学料・授業料免除、給付奨学金)については、詳細が決定次第、大学HPでご案内します。

入学料免除及び徴収猶予、授業料免除及び徴収猶予に関する問い合わせ先
宮崎大学学生支援部学生生活支援課 電話：0985-58-7976（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

(8) 奨学金

独立行政法人日本学生支援機構をはじめ都道府県・市町村・各種団体等による奨学金があります。これらはいずれも、人物、学業成績が優秀であり、経済的理由により学資支弁が困難な者を対象に本人の申請に基づき選考のうえ貸与又は給付されます。

また、修学意欲の向上及び学修研究活動の活発化を促し、優秀な人材の輩出をはかることを目的とし、学業成績の優秀な学生のますますの活躍を応援するため、本学独自の「夢と希望の道標」奨学金給付制度があります。

奨学金に関する問い合わせ先
宮崎大学学生支援部学生生活支援課 電話：0985-58-7140、7976、7882（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

(9) 教育用ノート型パソコンの購入・必携化について

国際社会におけるネットワーク化が進む中、「高度情報化時代に対応できる情報処理能力と倫理観を持った人材の育成」が必要となっています。

宮崎大学では、1年次の基礎教育開始時からコンピュータを使った文書作成、データを図表化する方法等の習得、ネットワークを利用して情報を受信・発信する能力の習得等、情報関連の教育を実施しています。また、専門教育に関しても、講義・実験のレポート作成や予習、復習のため、インターネットからの情報収集等が必要不可欠であります。

以上のことから、宮崎大学の教育方針をご理解いただくとともに、学生の皆さんには入学時に各個人でノート型パソコンをご準備していただくようお願いいたします。

追って、宮崎大学で最低限必要とするパソコンの性能等については、入学手続き時に再度ご案内いたします。

(10) 在学中の保険制度について

本学では、学生が安心して修学及び研究活動ができるように、学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）及び学研災付帯賠償責任保険（略称「学研賠」、「医学賠」）を取り扱っています。

「学研災」は、修学及び研究活動中又は通学中に起こった不慮の事故により、加入者が身体に傷害を被った場合に災害補償する制度であり、全員加入としています。また、「学研賠」、「医学賠」は、加入者が修学及び研究活動中に他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する制度です。

これらの保険制度についての詳細と加入手続きについては、入学手続き書類と併せて送付します。

在学中の保険制度に関する問い合わせ先
宮崎大学学生支援部学生生活支援課 電話：0985-58-7135（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

(11) 学生寄宿舍への入居

学生寄宿舍に入居を希望する者（外国人留学生を除く）は、下記①のとおり11月初旬に掲げる「学生寄宿舍入居申請要項」をダウンロードし、同要項にある「入居許可申請書」等を同要項記載の期限までに提出してください。なお、ダウンロードできない方は、下記②のとおり「学生寄宿舍入居申請要項」を請求し、同要項に綴り込みの「入居許可申請書」等を同要項記載の期限までに提出してください。提出期限後の申請書は受理できませんので、入居を希望する者は必ず提出期限までに提出してください。

① ダウンロードによる「学生寄宿舍入居申請要項」の請求について

学生支援部ホームページ（<http://gakumu.of.miyazaki-u.ac.jp/gakumu/home.html>）にある重要なお知らせの学生生活情報の欄をご覧ください。

② 郵送による「学生寄宿舍入居申請要項」の請求について

ア 請求方法：返信用封筒（角形2号、本人の住所・氏名・郵便番号を明記のうえ、140円分の切手を貼付したもの）を同封し、「学生寄宿舍入居申請要項（帰国子女入試）請求」と朱書のうえ、請求してください。

イ 請求先：〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学生支援部学生生活支援課 電話：0985-58-7142

ウ 請求期限：令和2年（2020年）1月6日（月）

③ 学生寄宿舍の概要

寄宿舍名	男子寄宿舍	女子寄宿舍	国際交流宿舍
収容定員	100人	100人	165人
募集人員	6人	6人	11人
入居資格	学部男子学生	学部女子学生	学部学生（男・女）
入居許可期間	1年間（令和2年（2020年）4月～令和3年（2021年）3月） ※4年間を保証するものではありません。		
寄宿料	月額7,000円		月額4,700円
構造	鉄筋コンクリート5階建		鉄骨鉄筋コンクリート8階建
居室定員	1人（個室）		
居室面積	9㎡	9㎡	11㎡
共用施設	補食室（自炊可能）、浴室、洗濯室、トイレ（国際交流宿舍は居室に設置）		
諸経費	光熱水費等 月額 8,000円程度		
所在地	〒889-2155 宮崎市学園木花台西1丁目1番地		

（注1）募集人員には、推薦入試合格者、AO入試合格者、帰国子女入試合格者、社会人入試合格者及び編入学試験合格者が含まれます。

（注2）在学中に寄宿料の改定が行われた場合は、改定時から新寄宿料が適用されます。

（注3）建物内及び周辺に喫煙場所はありません。

12. 個人情報の取扱いについて

- （1） 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人宮崎大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。
- （2） 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- （3） 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
- （4） 出願に当たってお知らせいただいた個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

13. 入学試験成績の情報開示

本学では、入学試験の結果について、各試験単位（学科、課程、コース等）毎に入学試験実施状況をホームページ等に掲載し公表していますが、試験成績（順位）の個人情報については、受験者本人からの請求に基づいて下記の要領で開示しますので、希望があれば必要な手続きを行ってください。

記

1. 開示請求者

本学が実施した令和2年度（2020年度）入学試験を受験した者

2. 開示請求の方法

受験者本人が「宮崎大学入試情報開示願」に必要事項を記入し、「本学受験票」,「開示通知用封筒（長形3号封筒に住所、氏名、郵便番号を明記し414円切手を貼ったもの）」を学生支援部入試課に郵送又は持参してください。

※受験票は必ず原本を提出してください。コピーは認めません。受験票原本の提出がない者には、いかなる理由があっても情報開示を行いませんので、大切に保管しておいてください。

※「宮崎大学入試情報開示願」は、本学ホームページ（4月中旬に掲載予定）からダウンロードして使用してください。または、郵送（長形3号の返信用封筒に住所、氏名、郵便番号を明記し84円切手を貼ったものを封入）によるか来学により取り寄せてください。

3. 開示請求期間

令和2年（2020年）5月11日（月）から同年5月15日（金）17時まで（必着）

※ 6月上旬頃に返送を予定しております。

※ 期間内に到着しなかったものは受け付けません。

4. 開示情報の内容

試験成績による順位

（3人以下の合格者及び不合格者については、開示しない。）

Aランク：合格者の中で上位1/2の者

Bランク：合格者の中で下位1/2の者

Cランク：不合格者の中で上位1/2の者

Dランク：不合格者の中で下位1/2の者

5. 開示の方法

開示請求者宛てに希望する開示情報を記載した資料を簡易書留にて郵送します。

入学試験情報の開示に関する問い合わせ

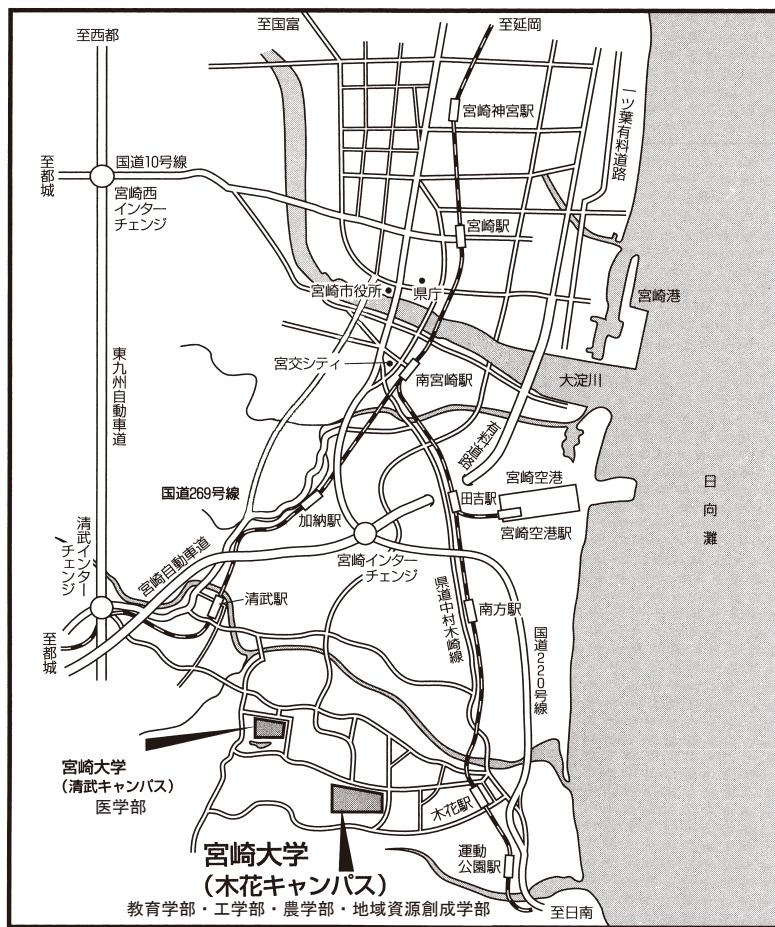
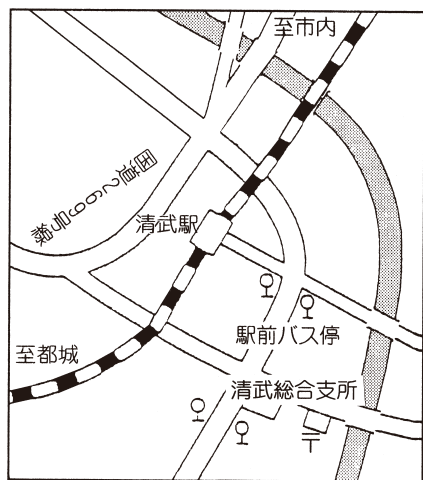
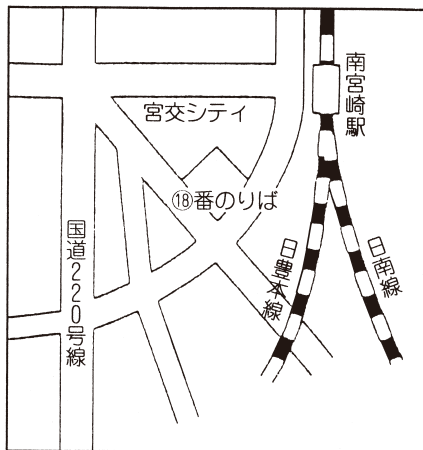
宮崎大学学生支援部入試課

電話：0985-58-7138

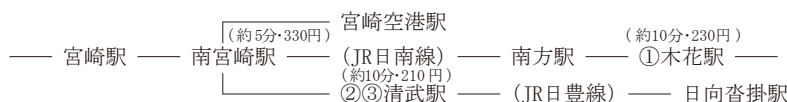
宮崎大学 (木花キャンパス) 入学試験場



宮崎大学位置図

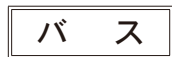


交通案内



※南宮崎駅の上段()書は、宮崎駅からの、木花駅及び清武駅の上段()書は、南宮崎駅からの所要時間及び運賃を示す。

- ①木花駅下車→バス停「木花」利用(徒歩10分)→木花経由 811番線→宮崎大学(約10分・170円)→大学病院前(約15分・270円)
- ②清武駅下車→バス停「清武総合支所前」利用(徒歩10分)→[清武経由832番線→大学病院前(約10分・190円)→宮崎大学(約15分・300円)]
まなび野経由822番線→大学病院前(約10分・190円)→宮崎大学(約15分・300円)
- ③清武駅下車→バス停「清武駅前」利用(徒歩5分)→清武経由 832番線→大学病院前(約10分・220円)→宮崎大学(約15分・330円)



- ① 木花台経由(宮崎交通811番線)
宮崎駅バスセンター — 宮交シティ — 国富小前 — 木花 — 宮崎大学(約40分・630円) — 大学病院前(約45分・700円)
- ② まなび野経由(宮崎交通822番線)
宮崎駅バスセンター — 宮交シティ — 農高前 — 県立看護大学 — 清武総合支所前 — 大学病院前(約45分・570円) — 宮崎大学(約50分・660円)
- ③ 清武経由(宮崎交通832番線)
宮崎駅バスセンター — 宮交シティ — 産経大入口 — 加納小入口 — 清武総合支所前 — 大学病院前(約40分・570円) — 宮崎大学(約45分・660円)
※医学部試験場で受験する人は「大学病院前」下車となります。

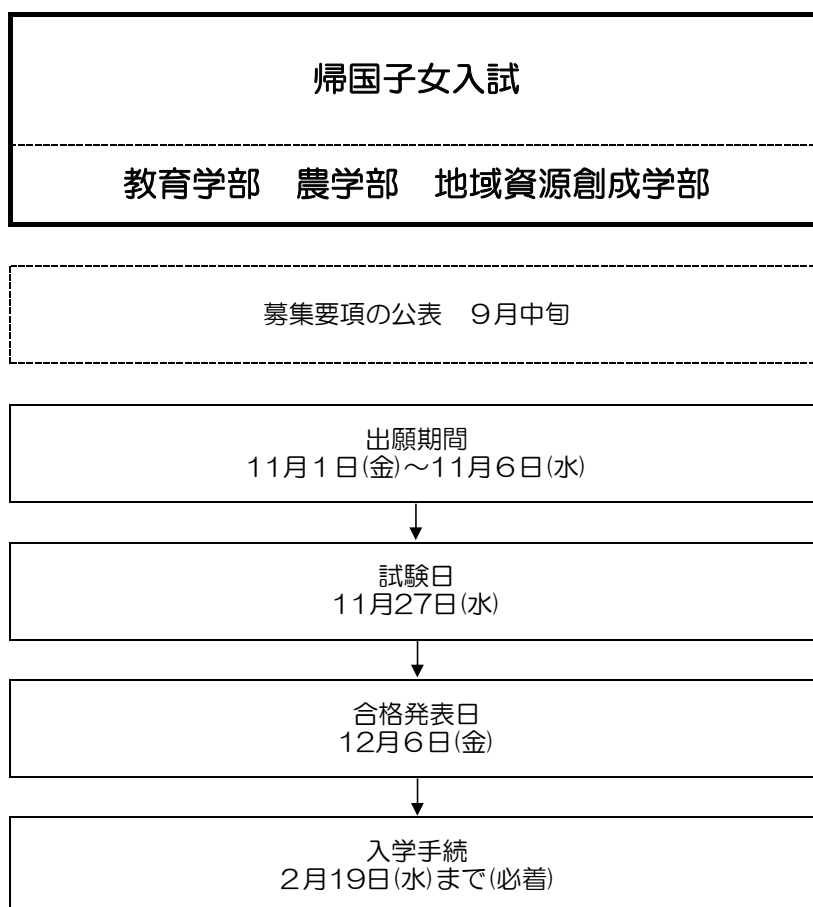


- JR 宮崎駅から — 約35分・3,200円程度
- JR 南宮崎駅から — 約25分・2,600円程度
- JR 木花駅から — 約10分・900円程度
- JR 清武駅から — 約15分・1,700円程度
- 宮崎空港から — 約20分・2,200円程度

各種問い合わせ先

入試全般	・・・学生支援部入試課	(電話 0985-58-7138)
入学手続	・・・学生支援部教育支援課	(電話 0985-58-7427)
授業料納入	・・・財務部財務課	(電話 0985-58-7122)
授業料免除	・・・学生支援部学生生活支援課	(電話 0985-58-7976)
奨学金	・・・学生支援部学生生活支援課	(電話 0985-58-7140)
学生寄宿舎	・・・学生支援部学生生活支援課	(電話 0985-58-7142)

入学者選抜試験日程 (令和元年(2019年)11月～令和2年(2020年)2月)



宮崎大学の入試に関するお問い合わせ先

〒889-2192

宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎大学学生支援部入試課

電話 0985-58-7138

ホームページ <http://www.miyazaki-u.ac.jp/>